

あつま

# 生涯学習だより

発行 厚真町教育委員会 電話 27-2495

## 主な記事

- ① 室内ソフトボール大会/厚子連「冬遊びイベント」
- ② ふるさと教育「厚真の魅力探検隊」/団体紹介/スケート靴の寄付について
- ③ 令和4年度読書感想文コンクール
- ④ 育英資金貸付/2月定例教育委員会/就学援助/パークゴルフ場オープンについて
- ⑤ 図書室だより
- ⑥ 放課後子ども教室活動報告

## 第26回室内ソフトボール大会

3年振りの開催！

2月13日(月)、あつまスタードームで3年ぶりとなる「第26回室内ソフトボール大会」が開催され、4チーム合計73人が参加しました。今大会は、4チームのトーナメント形式で実施し、初戦から一進一退の攻防が繰り広げられ、白熱した試合展開となりました。決勝は、enjoy 勢と厚真ファイターズとの一戦となり、3対2で厚真ファイターズが優勝しました。閉会式では、遠藤教育長から各チームに優勝カップや参加賞などが渡され、大会を締めくくりました。



## 厚真の子どもも集まれ！

厚真町子ども会育成連絡協議会主催

## 冬遊びイベント開催

2月25日(土)、厚真町子ども会育成連絡協議会(厚子連)が主催した「あつまのこども集まれ～みんなで遊ぼう冬遊び！」に幼児、小学生など28人が参加しました。

前日まで、心配された天気は、子どもたちの願いが通じたのか、晴天に恵まれ、絶好の外遊び日和となりました。イベントは、幌里地区の牧草地で行われ、雪像作りやソリ遊び、宝探しゲームなどを楽しみました。なかでも子どもたちが最も歓声を上げて楽しんでいたのが「スノーモービルで遊ぼう」で、スノーチューブに乗った子どもをスノーモービルが引っ張って走るので、「スピードがあって楽しい!」「風を感じる」と大好評で、何度もチャレンジする子もいました。

最後に行われた閉会式では、3チームに分かれて作った雪像の成績発表がありました。見事優勝を収めたのは、「新幹線」を作ったCチームで、短い時間の中で、子どもたちが協力し合って、作る姿が印象的でした。厚子連会長の尾谷 純司さんは、「3年ぶりのイベントだったが、体験する機会が少ない冬遊びで、子ども達の元気な姿を見ることができた。子ども達が喜ぶイベントを今後も企画したい」と話されていました。



## 「厚真の魅力探検隊」一ふるさと教育一

厚真中央小学校5年生は、ふるさと教育の一環として、「厚真の魅力探検隊」をテーマにお米とハスカップについて学習しました。5月に田植え体験、9月に稲刈り体験を行い、農家の方の仕事の大変さや厚真米へ寄せる熱い思いについて知ることができました。また、7月のハスカップ狩り体験では、一粒ずつ味が違うことがわかり、繊細な果実であるハスカップの奥深さに驚きを隠せない様子でした。

このような体験をもとに、子どもたちは「もっとたくさんの人に厚真の魅力を知ってもらいたい」と考え、インターネットで調べ、事業者にもインタビューをして、厚真の魅力について詳しく調べ、ポスターやパンフレット、動画にその成果をまとめました。

ふるさと教育を通して、子どもたちは、「厚真の良さが改めてわかった」「もっと厚真のことを知りたい」という思いを強く持つとともに、来年も続くふるさと教育へ、さらに意欲を燃やしていました。現在、町内各所に児童が作成した、ポスターなどを掲示していますので、ぜひご覧ください。また、ハスカップ学習で作成した動画は、4月15日まで下記のQRコードから見ることができます。



5年生が作成した「厚真の魅力探検隊ハスカップ」の動画を視聴できます。

## 厚真町の団体紹介～厚真町スピードスケート協会

厚真町スピードスケート協会は、小中学生の5人が所属し、活動しています。9月には帯広市の「明治北海道十勝オーバル」、11月からは苫小牧ハイランドスポーツセンター、12月末からは厚真町民スケートリンクと練習場所は、時期により異なり、屋外リンクは、天候にも左右されることもあり大変なこともあります。厚真町のリンクは、胆振管内で唯一、ローラースケートができるので、練習環境は恵まれているそうです。

またオフシーズンは、スポーツセンターで練習していますが、5人中3人は、陸上少年団でも活動しているそうです。指導者の内沢さんは「以前は、野球やバドミントンに所属している部員もスピードスケートで好成績を出していたので、二刀流を目指す人にもスピードスケートを勧めたい」と話していました。

今年の2月に地域おこし協力隊でスポーツ振興支援員に着任した歸山氏はスピードスケートで世界大会に出場経験もあり、さらに指導体制の幅が広がることを期待されますので、活動に興味のある方は、右記、教育委員会までお問い合わせください。



問合せ  
教育委員会社会教育グループ  
☎27-2495

### ご家庭に不用となった スケート靴はありませんか？

【連絡先】  
教育委員会（社会教育G） ☎27-2495  
厚真町スポーツセンター ☎27-3775

ご家庭で不要となったスケート靴がありましたら、ご提供をお願いいたします。現在、10足のスケート靴をご提供いただきましたが、貸出用として活用するには数が足りません。スケート靴の種類やサイズは問いませんので、ご提供いただける方は、左記、連絡先にお知らせください。

# 令和4年度読書感想文コンクール

町内の小学生を対象に、「本に親しみ、豊かな心を育むこと」を目的に冬休み期間中に取組んだ「読書感想文コンクール」に、町内2校の小学校から168点の作品が寄せられました。

また、2月18日（土）には表彰式が行われました。なお、受賞した児童は、下記のとおりです。

## 大賞作品

「100年後の水を守る」を読んで

厚真中央小学校 大宮 暉子

現在の日本は、蛇口をひねるだけで水が出るにも関わらず、わざわざお金を払ってウォーターサーバーを置いたり、より美味しい水や健康に良い水を求めたりするのが当たり前になっている。「100年後の水を守る」。この題名を見て私も、どこか山奥の天然水のような美味しい水を守る話だろうかと思った。しかし、読み進めていくうちに、この本の著者である橋本淳司さんが感じたという「罪の意識」に私も共感することとなった。

まず衝撃的だったのは、バングラデシュの人々が、汚れた水やヒ素に汚染されている水と知りながら、近くに安全な水がないためにそれを飲んでいるということだ。自ら毒を飲みに行くような行為、私にはとてもできない。でもそれを飲まなければ、毎日三時間以上かけて水をくみにいかなければいけないという現実。生きるための必死さが伝わってきて、辛くなった。それと同時に、自分の知識の無さにも気付かされた。

次に気になったのが、中国の人の節水に対する意識だ。節水キャンペーンなどを行うと、人々は「不便になる」「我慢を強いられる」という気持ちになり、行動に結びつかないという。私は、中国の人が地球に対するメリットではなく、自分のデメリットを考えているのだと思った。確かに水は毎日使うものだから、自分へのデメリットを大きくみしてしまうのは分かる。しかし、長い目で見れば地球に住む一人として水が無くなってしまおうのを避けられ、大きなメリットになるのではないか。

さらに私は、橋本さんが行っている「水の授業」がとても心に残った。特に、小学校で行った「人間らしい暮らしをするのに最低限必要な水の量」とされる50リットル生活するものが衝撃だった。トイレで水をながしただけで、一日80リットル使うことになるので即オーバー。もちろん、いろいろな解決策はあるが、それらを全て用いたとしても50リットルを使い切るのは一瞬だ。最初は、文句を言ってグダグダしていた子ども、熱心に取り組んで真剣に話し合っている様子を読んだ時は感動した。橋本さんが言うように、何かを教えるのではなく、気付いて考えてもらうことが大切なのだと思う。

私はこの本を読んで、二つのことを心に刻んだ。一つは、胆振東部地震の時に自分が感じた水の大切さを忘れてはいけないということだ。当時、私は、給水車に水をくみに行き、ペットボトルの水で調理したり、髪を洗ったりした。普段、当たり前に見える水が本当は当たり前ではないことを心に留めておきたい。

二つ目は、自分の知っている世界がとても小さいことだ。裕福な所があれば、他のどこかが貧しい。それは、どんなことにでも当てはまると思う。だから私は、一方だけを見て判断するのではなく、いろんな方面に目を向けて考えられる人になりたい。

学年	入賞区分	児童氏名（敬称略）
6年生	大賞	大宮 暉子
1年生	最優秀賞	中村 芽生
	優秀賞	荒山 千咲
		大垣 杜子
		大友 晴仁
		堀川 真紗斗
2年生	最優秀賞	嶺野 岳
	優秀賞	沼田 星
		飯田 拓充
		大垣 謙心
		堀田 実花
3年生	最優秀賞	松田 真央
	優秀賞	渡辺 わかな
		尾形 ひまり
		尾形 美音
		酒井 一平
4年生	最優秀賞	立花 ひふみ
	優秀賞	前田 耀太
		山岸 春翔
		堀川 恭平
		荒山 楓奈
5年生	最優秀賞	菊地 愛徠
	優秀賞	佐々木 絢美
		鷹見 遙
		日西 優吾
		大垣 尚生
6年生	最優秀賞	中村 夢歩
	優秀賞	幅田 玲愛
		堀田 和花
		前田 泰知
		三浦 菜
6年生	最優秀賞	柏木 昊
	優秀賞	北川 侑
		佐藤 遥
		高橋 円佳
		原 心々美



2月18日（土）表彰式の様子

## 厚真町育英資金貸付のご案内

厚真町に住所がある方の子弟で、大学等に進学された方のうち、一定の選考基準を満たす方に学資金の貸付を行っています。

### ●貸付対象者

- (1) 短期大学、大学、大学院（防衛大学校等を除く）
- (2) 高等専門学校（第4・5学年及び専攻科）
- (3) 専修学校専門課程（2年以上4年以内）
- (4) 国外において(1)～(3)に掲げる学校に相当する教育内容を行う学校

上記(1)～(4)の新規入学者か在校生で、保護者が厚真町内に在住されている方。

### ●選考基準

学校の内容、学業成績、健康状態、学習意欲、ご家庭の経済力等を考慮して決定します。

### ●貸付月額

月額6万円を限度に1万円単位で希望する額

### ●利息 無利子

※育英資金貸付のほか、近藤奨学金、中村奨学金、加賀谷厚三・明美奨学金があり、これらの奨学金は育英資金の貸付決定者から選考し、給付されます。

### ●貸付方法

希望される金融機関の口座（保護者等）へ毎月上旬にお振込いたします。

- ・通常貸付：初回貸付は7月中旬（4～7月分）
- ・早期貸付：初回貸付は6月中旬（4～6月分）

※早期貸付の場合、前年（令和4年）の総所得金額が決定した段階で基準を満たさなくなった場合は、返還手続きが必要になります。

### ●返済方法

卒業後、6カ月の据置期間の後、借用期間の3倍以内の期間で返済していただきます。

### ●提出書類

- (1)申請書（町HPからダウンロード又は、教育委員会にも用紙があります）

(2)在学証明書

(3)成績証明書（最後に在学していた学校の証明書）

(4)健康診断書（入学後、学校で受けた結果の写し）

(5)課税資料閲覧承諾書（申請書に添付します）

### ●申込期限

令和5年5月31日（水）まで

（ただし、早期貸付（6月）を希望される場合は4月28日（金）までに申請が必要です。）

★申込・問合せ 学校教育グループ ☎27-2494

## 2月定例教育委員会

2月28日に開催された定例教育委員会の会議内容についてお知らせします。

### ◆報告事項

令和4年度第6回厚真町教育研究所運営委員会／2月校長会議・教頭会議について／地域おこし協力隊・スポーツ振興員委嘱／第42回厚真町スケート記録会／まが玉づくり体験会／第26回室内ソフトボール大会／読書感想文コンクール表彰式／放課後子ども教室・特別教室「畑の恵みをいただきよう！手打ちうどんづくり」／100の学び場プロジェクト

### ◆その他

町内小中高等学校の卒業式・入学式の日程及び出席委員について

★問合せ 学校教育グループ ☎27-2494

## パークゴルフ場オープン

- 施設 上厚真パークゴルフ場  
新町町民広場パークゴルフ場  
本郷いこの森パークゴルフ場

- 期間 令和5年4月15日（土）  
～11月15日（水）

※貸出用のクラブとボールは、スポーツセンターと厚南会館にあります。

★問合せ スポーツセンター ☎27-3775

## 令和5年度就学援助のお知らせ

教育委員会では、次のいずれかに該当する世帯に対して学用品費等を援助しています。

### ●対象

- (1)生活保護が停止か廃止になった世帯
- (2)町民税が非課税か減免になった世帯
- (3)個人事業税や固定資産税が減免になった世帯
- (4)国民年金保険料の免除、国民健康保険料が減免、又は徴収が猶予された世帯等
- (5)その他経済的に困りの世帯

### ●援助内容

学用品費、修学旅行費、校外活動費、学校給食費等

### ●提出書類

- (1)令和5年度要保護及び準要保護児童生徒認定申請書（各学校にあります）
- (2)前住所における令和5年度（令和4年分）課税所得証明書（令和5年1月2日以降に転入された方のみ）
- (3)対象の世帯であることが証明できる書類の写し

### ●提出期限

4月7日（金）～5月31日（水）

### ●提出先

就学先の学校に提出してください。

### ●その他

申請後に審査が行われ決定します。就学援助の決定を受けた方で高等学校等に進学される方は、「厚真町木本建設入学準備金」を給付しますので、改めてお知らせします。

★問合せ 学校教育グループ ☎27-2494

# 図書室だより

## ワクワクドキドキ 新生活応援特集！！

4月から新生活が始まる方や新しい生活に興味のある方に必見の図書室にある、おすすめの本をご紹介します。ひとり暮らしにかかる費用、離れて暮らす家族の食事が心配…など、解決のヒントになりそうな本です。ぜひ参考にしてみてくださいね。



### 「私を動かす暮らしの道具」

自分で選んだ道具に囲まれて暮らす、いくつになってもあこがれる生活。自分に合った物を探すのも、ひとり暮らしの醍醐味です。



「はじめてのひとり暮らし安心ガイド」物件探しから、自炊の基本まで暮らし全般について、分かりやすく説明されています。初めての人に最適な本です。



### 「楽しすぎるエハラ家のホットプレートごはん」

コンロ一つでも、ホットプレートがあればなんとかなる。友達が家に来た時にも使えるレシピが満載です。



### 「大学生が狙われる50の危険」

実家から出て初めてのひとり暮らしとなる大学生にとって、危険となる50のこととその解決策について書かれた1冊です。



### 「冷凍お届けごはん」

自炊に不慣れな方に、温めるだけでいいご飯を送るのはいかがでしょうか。レシピはもちろん、送る時の注意点やコツも書かれています。

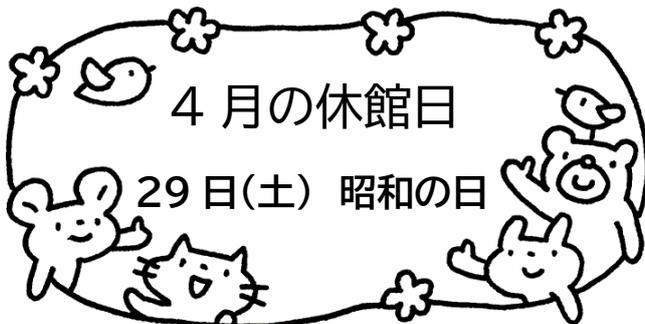
## ★ 本屋大賞候補作品展示中 ★

書店が今売りたい本を選ぶ、「2023年本屋大賞」の候補作品を展示しています。展示中の本が貸出中でもカウンターで予約ができます。

なお、本屋大賞については、4月12日に発表されます。



図書利用カードをお持ちの方で、住所や連絡先が変わった場合は図書室までお知らせください。古い住所や連絡先のままでは、図書室からのお知らせが届かない場合があります。



- 青少年センター図書室開館時間  
午前9時から午後5時 (月・水・金・土・日)  
午前9時から午後7時 (火・木)
- 厚南会館図書室  
午前9時から午後5時 (月～日)  
※毎月5日・20日が土日・祝日の場合は休館となります。

4月の「おはなしのびっ子」による絵本の読み聞かせは、  
27日(木) 午前10時から10時30分まで  
場所：子育て支援センターです。

# ☆ 放課後子ども教室活動報告 ☆

少しずつ雪解けが進み、眠りから覚めてひょっこりと顔を出すフキノトウ。町内の小中学校でも卒業式が執り行われ、子どもたちが次のステップに向けて歩みを進める季節を迎えました。ちよっぴり寂しさも感じますが、みんなの成長が嬉しくもあり、頼もしくもあり、巣立ってゆく子どもたちの背中を、晴々とした気持ちで見つめています。

放課後子ども教室が、厚真の子どもたち、地域の方々と過ごしてきた11年。町内の小学生を対象に、活動場所や回数は変わらず、コツコツと日々を積み重ねてきましたが、子ども教室の役割や、子どもたちや地域を取り巻く環境は緩やかに変化をしてくれているように感じています。

ここ数年のコロナ禍の生活によって、インターネットを介したサービスや技術が大きく発展しました。オンラインで仕事や勉強ができるようになり、買い物もタッチひとつでほしい商品が自宅まで届きます。ゲームや配信サービスを使えば、家にいながら世界中に友だちもできます。このような環境で生きる子どもたちにとって、直接的な人と人との関わりがどれだけ価値を持つものなのか、私たち大人には未知の領域になってきました。今までは逃げ道とされていたルートが、新しい生き方の選択肢となっていくこれから、その選択の行きつく先は、誰も経験をしたことのない世界です。善し悪しの判断も、今は誰にもわかりません。人と関わることは、ときにわずらわしくもあり、ケンカをすることもあれば、いじめや命にかかわることも引き起こします。一方で嬉しさや楽しさを共有する人との出会いは、心の支えとなり、生きる糧かてにもなります。その両面を知っている私たちは、目の前にいる子どもたちに、人と関わることをあきらめずについてほしいと願っています。そのために今、私たちにできることは何なのか、とても複雑な問題ですが、子どもたちと目線を合わせながら、思いを伝えていきたいと思います。

子ども教室が始まった当初、この事業の大きな役割は『地域資源と子どもたちをつなぐ』ことにありました。畑や田んぼ、環境保全林、浜厚真海岸で地元の人を講師に迎え、体験活動や食育プログラムにも力を入れてきました。現在では学校でのふるさと教育、放課後児童クラブでの冒険の杜での取り組みなど、子どもたちが地域資源に触れられる場が増えています。場が増えるということは機会が増えることであり、これは子どもたちにとって大きな利点となるでしょう。そして、それぞれの場の特色を踏まえ、子ども教室ならではの良さをこれからも十分に活かした活動をしたいと考えています。

また、厚真町の教育活動がどんな人材を育み、まちづくりにどうつながっていくのか、厚真町の教育が目指す大きな目標を学校・家庭・地域が共有して、子ども教室が担う役割を改めて評価していきたいと思います。この10年で培ってきた地域とのつながりや経験、そして、これまでの活動で出会った仲間とともに、目指すべきゴールに向かって、その役割を果たしていきたいと考えています。

目の前にいる子どもたちはもちろん、巣立っていった子どもたちの幸せを願いながら、私たちが新しい春に向けて準備を進めていきます。

